



何を学習すればいいの… 「冬休みまでにステップアップ」

今頃になっても、まだ「何を学習すればいいのか分からない。」と言う人がいます。とてもびっくりしましたが、勇気をもって聞いてきた人がいますので、アドバイスします。参考にしてください。いつも言っているように、基本は教科書とワークです。教科書やワークの中の基本内容の確認に大いに役立つのは「**5教科の基礎強化**」です。今まで真剣に取り組んでいなく今から本格的に受験勉強に取りかかる人や基礎が身に付いてないと思う人は、教科書やワークがぼろぼろになるくらいまでこの5教科の基礎強化を何度も何度も繰り返しましょう。冬休みからと言わずに、**今日から始めましょう**。

また、つい新しいものを買いたくなる人もいると思いますが、手持ちにもたくさん使い勝手のよいものがあります。例えば、**講座の解説・問題シート**、**授業で使っているワーク**、**過去のテスト問題と解答**、人によっては昨年に購入した**厚物テキスト**、7月に購入した**入試問題集**などです。どうしても購入したいのであれば、できるだけ薄いものにしましょう。そして、冬休みには、今までに実施された**定期テスト**や**実力テスト**を解いてみましょう。しっかりと取り組んで力がついていれば、解ける問題や正解が増えているはずです。間違えたところをしっかりと理解し、復習しましょう。最後に、**第4回統一テストの過去問**、自分が受験する**私立高校の過去問**を解いてみましょう。きっと点数がアップするはずです。



ステップにそって自分の学習内容を考え、実行しよう！

あなたは、どこから始めますか？

国語

【ステップ1】「10問漢字」や毎月行われている「漢字テスト」の漢字を何度も繰り返して覚える。

【ステップ2】正答に近い言葉が自分の解答に出てくるように、多くの問題(厚物テキスト)を解く。解説を読み、なぜその言葉が答えに出てくるかを理解する。

【ステップ3】過去の私立高校や公立高校の入試の長文読解問題を解く。



社会

【ステップ1】公民・地理・歴史の復習を、教科書・ワーク、講座の問題シート、厚物テキスト、問題集などを使って、繰り返し取り組む。三分野の教科書のグラフや図、写真をしっかりと見ておく。

【ステップ2】過去の定期テストや実力テストを見直し、もう一度やってみる。

【ステップ3】過去の私立高校や公立高校の入試問題に取り組む。記述式の問題ができるようにする。

数学

【ステップ1】朝講座をもう一度やり直してみる。1～3年の教科書やワークの確かめ・問題に取り組む。

【ステップ2】厚物テキストやワークなどで復習する。

1～3年教科書の章末問題A・Bをもう一度解いてみる。

1～3年教科書の巻末「総復習問題」に取り組む。

【ステップ3】過去の定期テストや実力テスト問題をやり直してみる。

受験校の入試問題(過去問)や第4回統一テスト(過去問)を解く。

【ステップ4】自分で購入した入試問題集や数学問題集に取り組む。



理 科

【ステップ1】理科用語を理解し、漢字で正しく書けるようにする。

【ステップ2】教科書を読み、大切なところにアンダーラインを引く。

〈ポイント〉太字、章末の学習のまとめ、用語と図の関係、

実験・観察(目的・方法・注意点・試薬・器具) グラフの読み方・使い方
ワーク等を繰り返す。



【ステップ3】講座の問題シートを復習する。

厚物テキストやワークなどの基本問題(基礎を確かめる問題)を解く。

過去の定期テストや実力テストの間違ったところを復習、考え方を確認・理解・納得する。

【ステップ4】厚物テキストやワークなどの基礎を使いこなす問題を解く。

入試問題集を解く。記述式の問題ができるようにする。(キーワードが何か判断できる)

英 語

【ステップ1】1日1回、対話文や長文を一つずつ時間(2つで30分)を計って解く。

①まず、何も見ず30分間で解く。

②答え合わせをする。本文の内容も確認する。

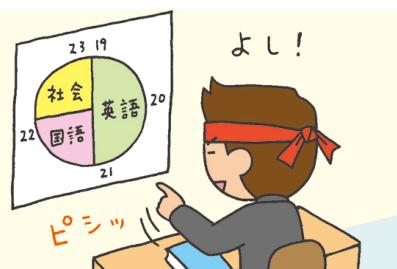
③忘れていた単語・熟語、知らなかった単語・熟語を
まとめノートまたは単語カードに記入しておく。

④③を覚える。

【ステップ2】教科書の本文を1日1回、声に出して読む。

【ステップ3】教科書等の日本語訳を見て、英語を言う。

その後、ノートに自分で何も見ずに書いてみる。答え合わせをしっかりととする。



「問題を正しくつかめば、半ば解決したも同然である。」(C.ケタリング…アメリカの発明家)

この違いはなんだろうか？

「きちんとするのが当たり前」になるように気をつけている人がいる。

一方で、身だしなみどころか授業に集中さえできない人がいる。

入試や面接を意識した生活を送っていますか。本番までに、良い習慣を是非身につけてほしいと何度も言っています。本番当日には、身だしなみに気を使うゆとりはまず無いと思います。そんなことに気を使うなら、テストや面接の応答に神経を使ってほしいのです。

高校側は、どんな生徒に入学してほしいのでしょうか。以前にも言いましたが、「学ぶ意欲のある人」、それに加えて、基本的生活習慣の身に付いた「きちんとしている人」に入学してほしいのではないでしょか。制服を着て歩いている在校生は、歩く宣伝マンです。みなさんも、だらしない格好の人をみると敬遠したくなるのではないでしょか。まして、授業に集中できないなんて論外でしょ。表情を見ていれば、この生徒は頑張っているのか、まだまだ受験生としての頑張りに達していないのか、分かるものなのです。皆さんの表情を見ていると、まだまだ余裕のような気がします。心のゆとりを持つのは大切です。クラスメートや、友達を思いやる気持ちを持つことは大切です。互いに励まし合ってこの受験を乗り切って欲しいものです。また、私立の志望校を決めたから、あるいは専願にするから、もう合格したと勘違いしていないでしょか。勝負は下駄を履くまで分からぬ(一発逆転があり最後まで分からぬ)と言います。受験も同じです。気を緩めては合格するはずのものも……。志望校を決めたら、その合格に向けてがんばることが大切です。まだ結果は出ていません。結果はどちらにも転びます。どちらの結果を期待しますか。今は最善の努力を。



努力は人を裏切らない！